

◆区長の思いについて

問 明治維新三傑が成し遂げた大改革が今の国のかたち、地方自治の礎となった。この成り立ちについての思いは。

区長 彼らはしっかりと歴史観に基づく理想を抱き、志を貫き通した。歴史の審判に堪えられる政策を実現し、区民生活をより豊かにしたい。

◆区立美術館・図書館の再整備と工費の高騰について

問 ①再整備工事着工を見送る決断をした区長の思いは。

区長 ②石神井公園駅南口西地区再開発の工費高騰の影響は。

区長 ①来年度の着工は見送るが、文化拠点にふさわしい施設創出に引き続き取り組む。

都市整備 ②再開発組合は工事費を縮減して事業を進めている。区は動向を注視し支援。

◆令和8年度予算編成について

問 経済の成長軌道をより確

◆区民や区内事業者への支援について

問 ①補正予算の考え方は。

区長 ②区内事業者の活動の実態調査を。③さらなる優先発注を。

区長 ①国や都が進める経済対策に区独自の支援を加えて編成し、近く提案。

総務 ②現地調査で確認。③7月から総合評価方式入札制度において加点を充実。

◆区立美術館・図書館の再整備について

問 ①工事費やスケジュール

区長 ②VE・CDの効果は。③契約済みのエレベータ工事はどうするのか。また、設計の見直しは検討するのか。

地域文化 ①工事費は実施設計完了後に積算。今後1年間は状況を慎重に見極める。②CM費用を大きく上回る削減効果を見込む。③本体工事の着工時期に合わせ適切に対応。

VE・CD：バリエーション・アライメント(Value Engineering)・コスト削減手法。CM：コンストラクション・マネジメント(Construction Management)の略。発注者側に立つて、設計や工事発注方式、工期、品質管理、コスト管理等の各種マネジメント業務を行う。

国のかたちと地方自治の成り立ちの再考を！

練馬区議会自由民主党 藤井 たかし

問 ①リサイクル事業継続のために実情に合わせ車両台数増等の改善が必要では。

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①上石神井第三保育園の

定員拡充を。②地域子ども家庭支援センター関分室の運営方法は。③保育料無償化対象者への周知は。④ひろば事業の利用時間拡大や利用開始時期の前倒しについて見通しは。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

子ども・子育て施策について

問 ①子育て支援施設について

◆区長の基本姿勢について

問 ①社会的な変革期において区長はどう区政を運営するのか。②区立美術館・貫井図書館再整備の延期理由と、今後の施設の暫定利用は。③学校給食食材費の早急な支援を。

区長 ①これまでの取組を継続・発展させながら、区民生活をより豊かにする施策に力を入れる。②予定工期では、事業者確保の見通しが立たないため。地域文化 現施設での運営を継続。副区長 ③価格上昇相当分の米を一括調達し、各学校に配布。

災害時の対策強化について

問 ①障がい特性に応じた合理的配慮の周知啓発を。②安否確認体制が整っていない介護施設等にSNSの活用や手

都市整備 都と国の協議の進捗に応じ、働きかけを検討。

大江戸線について

問 大泉学園までの延伸ニュー

スが個別配布され、事業化に向け前進する。地元からも国に対し、運動をすべきでは。

都市整備 都と国の協議の進捗に応じ、働きかけを検討。

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

子ども・子育て施策について

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

子ども・子育て施策について

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

子ども・子育て施策について

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

子ども・子育て施策について

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

子ども・子育て施策について

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

◆就職氷河期世代に対する支援について

問 ①課題の認識は。②相談

窓口の周知と組織体制強化を。③支援ニーズ等の把握を。

福祉 ①早期発見や高齢期に至る前の集中的支援が課題。②チラシ等で周知。支援を行う社会福祉協議会の体制強化を図る。

教育長 ①合計25人の定員増を。②地域子ども家庭支

援センター関と同一事業者が運営し相談等一体的に対応。③個別案内等で周知。④来年の全校実施に向け進める。

区立小中学校の教育環境の整備について

問 ①上石神井小・中学校の

改築中の活動場所の確保を。

区立野小と立野地区区民館改修の時には地域活動に配慮を。

子ども・子育て施策について

◆美術館再整備計画とサンライフについて

①計画は妥当か検証し、サンライフ練馬の廃止を前提にした計画は白紙撤回すべき。

②CM業務と市場調査の期日は10月末。現時点でなぜ見直しを判断したのか。③現時点での概算工事費とこれまでに

かかった費用の内訳を項目ごとと示せ。④特殊で複雑な構造が着工見送りの原因か。

区長 ①再整備計画は練馬区の文化芸術振興を目指し、区民の皆様とともに作り上げてきたもの。方針に変更はない。

地域文化 ②8月末に調査報告を受け、解体工事中工時期を考慮し判断。③概算工事費は実施設計完了後積算。基本構想策定支援委託料2224万円、設計委託料2億734

9万円、昇降機設置工事費前払い金1億860万円、中村橋駅

◆区長の基本姿勢について

問 気候変動対策に関し、区として何をなすべきか、区長の基本的な見識は。

区長 総合的な環境施策を展開するため、環境基本計画2023に基づき区民・事業者と協働して、脱炭素を推進。

◆地球沸騰化対策について

問 ①区道における遮熱性舗装の取組状況は。②雨庭等、治水目的のグリーンインフラを夏季の高温化対策としても活用する考えは。③ペロプスカイト太陽電池の製品化を視野に入れ、真夏の避難所の停電対策を。④環境対策でもあるZEHの災害時の有用性について、積極的な周知を。

技監 ①駅前の公共施設周辺等において6年度末までに延長約11km、面積約4万5千㎡で施工。②公共施設への導入を検討。③国の

※ZEH：Net Zero Energy Houseの略称で「ゼッチ」と呼ぶ。高断熱・高気密化・高効率設備によって消費エネルギーを減らしながら太陽光発電等でエネルギーを創出して、年間消費する住宅の正味（ネット）エネルギー量が概ねゼロ以下になる住宅のこと。

周辺まちなみ整備総合監修委託料857万円。④予定工期では事業者確保の見通しが立たないため。設計が理由ではない。

◆教育費の負担軽減について

問 ①全ての学用品や修学旅行、制服代等の無償化に踏み出せ。②生活保護基準引下げに違法の判決。引下げを反映

美術館再整備は夢から覚めて白紙撤回を

日本共産党練馬区議団

有馬 豊

◆子どもの体験支援について

問 ①経済状況等により体験格差が広がっている。子どもの実情を把握する調査を行え。②ひとり親家庭向け学習支援事業は学習のみが対象。民間団体と連携し、多様な体験ができる事業への体制構築を。

◆分譲マンションについて

問 ①マンションの劣化診断に助成を行え。②マンション管理に関する情報を区が提供せよ。③管理組合の間で情報共有を促し、区も情報発信せ

業について

問 将来、武蔵関駅付近の高層下図書受取窓口や予約図書自動受取機の設置を。防災備蓄倉庫の設置は可能か。

◆都市整備

倉庫の設置は可能。高架化完成時期が見通せる段階で、地域のニーズ等を踏まえ関係者と協議し、決定する。

40℃時代の防災・減災対策を

練馬区議会立憲民主党

たかはし 純

◆地域公共交通について

問 ①厳しい運行環境のみのりバスの収支率は。②昨年度の南大泉・東大泉地域のデマンドタクシー実証実験は収支採算性に課題。収支率改善の取組は。③本年4月に泉38系統が廃止となった地域に運営コスト削減の先進的事例等も踏まえたデマンド交通導入を。

◆西武新宿線連続立体交差事業

西武新宿線連続立体交差事業

よ。④投機目的の区分所有者がいると、合意形成が難しくなる。こうした売買の防止に取り組め。

◆建築・開発

①考えはない。②建て替え等に関する法改正について、機会を捉え周知。③情報交換を行うセミナーや無料相談会を開催等。④他自治体の動向等を注視。

◆大江戸線の延伸について

問 都営地下鉄の延伸は都の事業。総事業費1600億円のうち区が20億円も負担をすれば、教育や福祉の予算が削られるのでは。

◆都市整備

単年度に財政負担が集中しないよう、計画的に積み立てている。他の行政サービス予算を削減することはない。

一般質問(要旨) 6月6日

◆東京の大都市制度(都区制度)について

問 ①区は都区制度をどのように評価しているか。将来、どのような道を歩むべきか。②今後、どのような姿勢で都区財政調整協議に臨むか。

区長 ①特別区制度は、広域行政・専門行政と、生活を支える身近な行政との境界が曖昧で権限が混乱しており、再検討が必要な時期に来ている。私が志すのは都と区が力を合わせる体制への転換。

◆危機管理について

問 ①これまでの自然災害対策の取組と現在の課題は。②災害時に都区が連携する際の課題と、課題に対応するため

◆多文化共生について

問 ①地域と外国人の相互理解を深める支援を。②外国人の小学生や介護従事者への日本語習得支援を。③多言語オンライン相談窓口の設置を。

◆地域文化

①各地域で文化交流カフェ実施等。②介護職員は国家資格が必要。講座実施。小学生の支援の在り方を検討。③状況等を踏まえながら検討。

◆(仮称)公園等改修計画について

問 ①ボール遊び、花火、ペット同行等、柔軟な利用の検討を。②地域特性やニーズに合わせ、機能強化、転換を。

◆区長

①公園の特徴や地域の実情に応じて、多様な利用ができる公園を一つでも多く増やしていきたい。

◆技監

②周知

◆認知症施策について

問 ①認知症予防のため高齢者の高い葬儀となるよう区や都、区長会と一層の連携を。②高齢者や障害者等デジタル機器の取扱いが不安な方に対してマイナ保険証への切替え支援を。③孤立死の未然防止に向けた地域コミュニティ活性化や居場所づくりの今後の方針は。④孤立死の早期発見対策

の体制をどのように構築しているのか。③区の危機管理体制をさらに強固にするため、危機管理監の導入を。④終戦80年を機に、被爆者の語り部による講演の開催を。

◆危機管理

①予防対策が課題であり、ハードとソフトの両面から「攻めの防災」を進め

誠心誠意、問う。

練馬区議会自由民主党

つじ 誠心

◆保健福祉・医療・介護について

問 ①マイナ保険証の利点を

◆マイナ保険証の利点を

①マイナ保険証の利点を

◆予防接種について

問 ①コロナワクチン接種対象者への周知強化を。②15歳まで小児インフルエンザワクチン助成拡充を。③帯状疱疹ワクチンを50歳から64歳にも接種できる体制を。④妊婦へ

◆高齢施策

①引き続き様々な相談に対応できるよう、デジタル支援を強化。②施設利用者の声等を踏まえ、検討。

◆障がい者支援について

問 ①強度行動障がいの方や

◆不登校対策について

問 ①メタバースでチャットやゲーム機能を活用し楽しく学ぶ取組を。②校内別室登校の拡充を。学習の充実のため、大学生ボランティアの協力を。

◆教育長

①試行中のメタバースでは、ゲーム要素のある教材が好評。来年度の本格実施に向け、内容の充実を検討。②実施状況等の調査結果を分析し、検討。大学生は見守りの役割を中心に担当。

新たな自転車交通ルールを区民に周知せよ！

練馬区議会公明党

佐藤 じゅんや

◆自転車の安全対策について

問 ①自転車の青切符制度に対する区の対応は。②シェアサイクル等への酒気帯び運転に対する警告掲示を。③損害賠償保険制度の周知啓発を。

◆技監

①今後、警察と連携し周知啓発。②事業者にもポータルへの掲示の充実を要請。③分かりやすい広報に努める。

※青切符制度(交通反則通告制度)：運転者が一定の違反行為をした場合、一定期間内に反則金を納めれば、刑事裁判や家庭裁判所の審判を受けずに事件が終結されるとい制度。令和8年4月1日から自転車の運転者16歳未満を除くも対象となる。

説明し、積極的な切替えを勧奨すべき。区の方針は。②高齢者や障害者等デジタル機器の取扱いが不安な方に対してマイナ保険証への切替え支援を。③孤立死の未然防止に向けた地域コミュニティ活性化や居場所づくりの今後の方針は。④孤立死の早期発見対策

◆区民

①国民健康保険料通知や区報等で周知。区役所等にマイナ保険証の登録機器を設置し支援。引き続き登録を

◆高齢施策

③高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域で見守りを支える体制を強化。④活用について検討するとともに、周知啓発に努める。⑤具体的

◆地域文化

⑥制度の詳細が決まり次第、区民に速やかに周知。⑦引き続き特別区長会で検討。必要に応じ国へ要請等。

◆地域医療

⑧医療機能連携推進委員会と協議。医療環境の整備に努める。

※7※6
アウトカム：結果。特に行政による事業を評価する際に、どれだけ目的を果たしたかを表す。
※7※6
KPI：Key Performance Indicatorの略。施策などの進捗状況を検証するために設定する指標

◆**区のブランディングと区域界隈について**
問 ①区に対し心理的距離が遠い「吉祥寺あたり」の区民について認識は。②境界限の心理的距離を縮める取組を。

◆**区長室長** ①②区民意識意向調査では全域と比較し南西部は肯定的回答がやや低い。インフルエンサー活用等各地域の魅力を発信し区へ愛着を持つてもらえる広報に取り組む。

◆**アニメ・漫画文化の在り方と今後の展開について**
問 ①聖地等の情報資産を記録し、今後の活用を。②アニメ文化を根付かせるリアルなアニメ制作体験の取組を。

◆**地域文化** ①活用を検討。②小中学生を対象に、アニメや映像制作の体験授業を実施。

◆**マンション防災と在宅避難の支援について**
問 ①マンション非常用発電

◆**戦後80年、区の平和施策と戦争遺跡について**
問 ①区の平和予算削減は平和への後ろ向きな姿勢を象徴事業の拡充を。②稲荷山憩いの森の旧日本軍施設保存を。

◆**総務** ①継続した取組を着実に推進することが大切。引き継ぎ、事業を充実。②実態把握のため、必要な調査を行う。

◆**ヘイトスピーチ対応について**
問 ①教員研修や授業で具体事例の学習を。②外国人施策の在り方方針の中で、区独自のヘイトスピーチ禁止条例の制定を見据えた方向性を示せ。

◆**教育振興** ①毎年各校の担当者に研修。社会科等の授業で学習。②条例制定の考えはない。啓発等に取り組む。

◆**日本語学級の拡大について**
問 ①各地域に拠点校設置を。②日本語中級以降の支援を。

◆**教育長** ①日本語学級は外国

◆**時代にあわせて練馬をアップデート！**
練馬区議会無所属・都民ファーストの会・国民民主党・ウェルビーイングな会

◆**水上市子** ①街かどケアカフェはマンションに出張型開催の営業を。スナックという名称や夜開催検討を。②高齢者が通う常連のお店と地域包括支援センターで連携するシステムを。

◆**副区長** ①マンション防災会の訓練等の機会に、ケアカフェの講座開催を呼びかける等住民の居場所づくりを働きかけ

◆**健康診断・がん検診の環境向上について**
問 ①隣接市区の医療機関と連携を。②無痛MRI推進を。

◆**健康** ①区民の意見等を踏まえて検討。②国の動向を注視

◆**学校の環境向上と存在意義について**
問 ①校舎デザインの平準化の理由は。②誰もが集える要素を入れ地域の核となる場へ。

◆**教育長** ①どの学校でも同程度の教育環境を確保し、持続可能な財政運営維持のため。

◆**ウェルビーイング向上のための取組について**
問 ①アウトカム、KPI設定を。②職員に幸福度診断を。

◆**区政改革** ①幸福という概念を数値目標とするには課題がある。②実施する予定はない。

◆**区長の基本姿勢について**
問 ①築約40年の美術館・貫井図書館を、改修ではなく建て替える理由は。概算工費は約76億円から約109億円に増額。最新の工費費を示せ。②ガラス建築となる美術館の安全性は。③介護・障害・保育事業者への給付金の継続を。

◆**地域文化** ①改修ではスペース不足等の課題に対応できないため。実際の工費費は実施設計完了後積算。②法令基準よりも地震力を割増しして設計し、安全に配慮。③企画

◆**英語教育、学校校則の見直し**
問 ①区の英語教育の取組は。②校則見直しのためのガイドラインの作成を。

◆**教育長** ①小中学校にALT

◆**堅実、着実な区政を求める。**
れいわ新選組練馬

◆**山口 あきこ** 地域公共交通の再構築に向け、デマンド交通等も含め検討。

◆**学校給食について**
問 予算を増額し、給食の質の向上を。

◆**教育長** 当初予算で既に増額。

◆**差別と排外主義を許さない区条例制定に動け**
日本共産党練馬区議団

◆**気候危機対策について**
問 ①区立施設の新築・改築時にはゼロプラスカーボン太陽電池を導入し、100%ZEB化を目指す。②カーボンニュートラル化設備設置等補助金の対象や上限額の拡充を。③「気候市民会議」のような仕組みをつくれ。④緑視率や緑被率は木陰効果・冷却作用を十分に

◆**都市整備** ①整備方針の間まとは交通量に対応した交通処理機能等10項目を設定し、必要性を検証。将来交通量は改めて推計。③道路ネットワークの形成等に資するため、引き続き整備が必要。

◆**反応等の危険性を周知せよ。**
健康 ①長期間の使用実績もあり安全と考える。②必要な情報等を記載したお知らせを同封。ホームページでも周知。

◆**障害者施策について**
問 ①福祉団等の利用時間外の居場所不足への対応は。②重い障害を持つ方が利用できるグループホームの充実を。

◆**福祉** ①利用時間後の通所施設の活用を8年度実施に向け、検討。②次期障害者計画の中で新たな整備目標を検討。

◆**学童クラブについて**
問 ①都認証学童クラブの認証に向け人材確保対策を。②希望者増に備え、学校内学童クラブ室のスペース確保を。

◆**ことども** ①来年度開設のねりっこ学童クラブは認証基準により事業者を選定。既存事業者とは職員配置等を協議している。②改築等の際、確保。

◆**一般質問(要約)**
9月10日

◆**区長の基本姿勢について**
問 ①築約40年の美術館・貫井図書館を、改修ではなく建て替える理由は。概算工費は約76億円から約109億円に増額。最新の工費費を示せ。②ガラス建築となる美術館の安全性は。③介護・障害・保育事業者への給付金の継続を。

◆**地域文化** ①改修ではスペース不足等の課題に対応できないため。実際の工費費は実施設計完了後積算。②法令基準よりも地震力を割増しして設計し、安全に配慮。③企画

◆**英語教育、学校校則の見直し**
問 ①区の英語教育の取組は。②校則見直しのためのガイドラインの作成を。

◆**教育長** 当初予算で既に増額。

◆**堅実、着実な区政を求める。**
れいわ新選組練馬

◆**山口 あきこ** 地域公共交通の再構築に向け、デマンド交通等も含め検討。

◆**学校給食について**
問 予算を増額し、給食の質の向上を。

◆**教育長** 当初予算で既に増額。